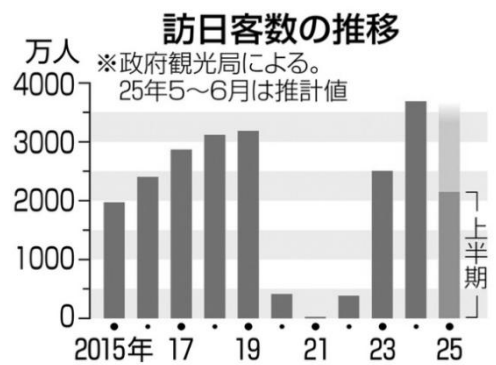
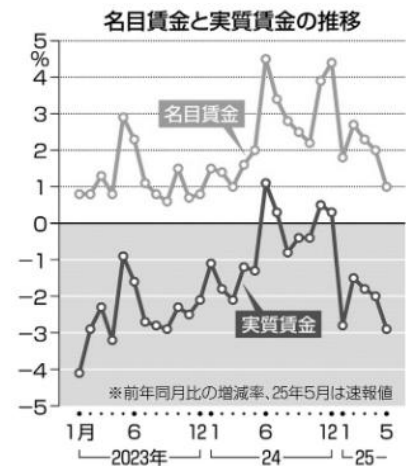


1. 地域経済と課題

- (1) 厚労省によると今年5月の実質賃金は前年同月比2.9%減で5か月連続減。5月減少幅は23年9月以来1年8か月ぶりの大きさ。実質賃金は22年4月から24年5月まで過去最長の26か月連続マイナス。その後はボーナスが支給される夏と冬だけがプラスである。賃上げと物価の好循環に向けての取り組みが求められる。
- (2) 政府観光局によると、今年上半期に訪日客が最速で2,000万人を超え、前年同期比21.0%増の2,151万人となった。また、4~6月の消費額は前年同期比18.0%増の2兆5,250億円であった。国・地域別では、韓国が472万人、中国471万人、台湾328万人であった。消費額から見ても地域経済の振興にとってインバウンドの重要性がわかる。しかも、韓国、中国、台湾と九州に近いところが多くを占めている。オーバーツーリズムが問題となり、これらの国からの訪日客も日本らしさと体験型消費傾向がみられると言われている。地方への誘客に工夫を凝らす必要がある。
- (3) 地方創生2.0で「ふるさと住民登録制度」が閣議決定(6月13日)された。この制度を先行している自治体として「第3次唐津商工会議所中期計画」でも丹波市を紹介している。目標は10年間で1,000万人とされている。三大都市圏以外の人口規模からすると唐津は2万人が目標か。→参議員選挙の結果はどう影響するか注視していく必要がある。



(図表はいずれも西日本新聞より)

2. 経営支援から見える地域経済と課題

- (1) 令和7年度第1四半期(令和7年4~6月)は、巡回訪問173件・窓口対応643件の経営支援を行った。

3. LOBO 調査(早期景気観測)&中小企業景況調査

(1) LOBO 調査【令和7年7月調査】

業況DIは、消費者の節約志向に猛暑が重なり悪化。先行きは、米国関税措置の影響懸念から慎重な見方。

- ・全産業合計の業況DIは、▲18.9(前月比▲2.1ポイント)

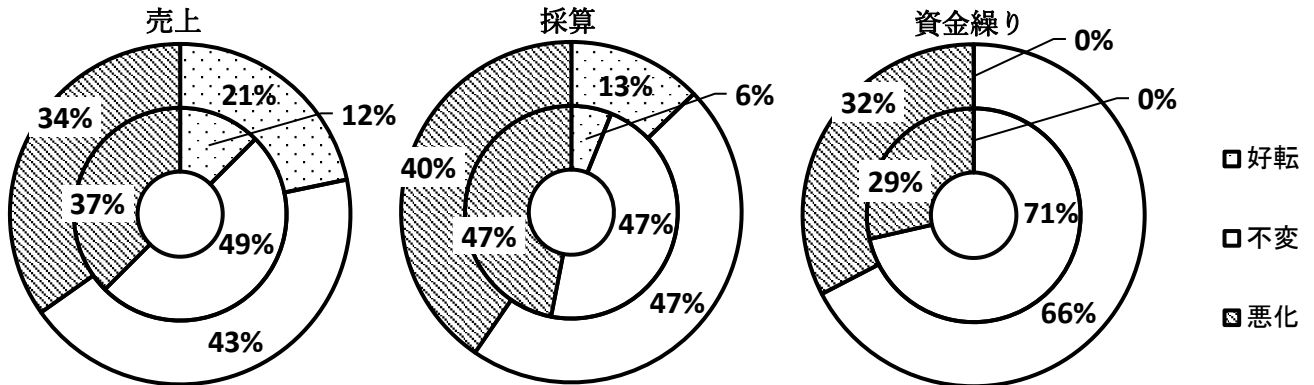
全国：建設業・卸売業では、設備投資をはじめとした民間投資が堅調に推移し、改善した。小売業・サービス業では、生活必需品の値上げに伴う消費者の節約志向に、猛暑の影響が重なり、悪化した。また、製造業も食料品関係で小売業・サービス業からの引合いが減少し、悪化した。コメやガソリン価格の上昇に一服感が見られるものの、食料品を中心に生活必需品の値上げは継続しており、節約志向の高まりを指摘する声が聞かれた。また、猛暑の影響が広く聞かれており、熱中症対策品の需要があったものの、外出控えに伴う客数減少から、中小企業の業況は悪化した。

九州：業況DIは悪化。サービス業では、消費者の節約志向の高まりやエネルギー価格の高止まりの影響を受け、生活サービス関係や運送関係などで売上・採算が悪化した。製造業では、消費者の買い控えにより、食料品関係などで売上が悪化した。事業者からは、輸送コストの増加分は価格転嫁により対応できている一方、現在は人手不足に伴う配送遅延が大きな課題となっている、という声が聞かれた。

(2) 中小企業景況調査【令和7(2025)年4月～6月調査】

円グラフの外側：前年同期（2024年4～6月）と比べた今期（2025年4～6月）の状況

内側：前々年同期（2023年4～6月）と比べた前年同期（2024年4～6月）の状況



直面している経営上の問題点（各業種の最も多かった問題点）

製造業：原材料価格の上昇

小売業：需要の停滞

建設業：従業員の確保難

卸売業：仕入単価の上昇

サービス業：消費者ニーズの変化への対応

4. 唐津の街のトピックス

- (1) 唐津国際映画祭が7月8日～13日に開催され成功裏に終了した。応募作品331本、うち外国から111本（33か国・地域）で国際映画祭にふさわしい。「ケイコ目を澄ませて」の主演の岸井ゆきのさんは「住む場所に映画館があるのはすごくすてき・・・」と言われていた。シアターエンヤ賞を受賞した木場明義監督には次回作製作のための奨学金300万円が授与された。次作、乞うご期待。
- (2) 唐津中央青果と唐津青果が統合しての新たな青果市場が山本に完成し8月1日に竣工式が行われた。2つの市場の統合は長年の懸案事項であった。新しい市場が新鮮な青果の流通拠点となるとともに跡地の活用が中心部の活性化に役立つことが望まれる。新市場は10月1日に営業開始。
- (3) 唐津に本社を置くヒューベストホールディング(株)がFobes JAPAN7月号に紹介されている。M&Aによる新規事業展開を含め、自動車販売の単独業からの転換に成功した地域コングロマリット企業として。2024年は、グループ7社、年商210億円、従業員559名。
- (4) 『栗原はるみ』vol.10は「唐津へ、器探しの旅」が24頁にわたって特集。本人が直接、足を運ばれ、5人の作家の紹介や食、風景、お気に入り掲載。著書の累積発行部数は3,200万部になるといわれる。
- (5) こども家庭庁が唐津のNPO法人WeDを「子ども・若者主体のアクション」で取り上げている。高校生が地域と関わりながら主体的に「SUPで無人島に渡り海岸清掃を行うチーム」「高校生カフェを運営するチーム」「商店街をステージに文化祭を開催するチーム」などが紹介されている。
- (6) 2年前に大阪から唐津に本社を移転された(株)山勝はルアーの性能が素晴らしく良く魚が釣れるということで全国から唐津に買いに来られるとのこと。海の街唐津での横展開も期待できそうである。
- (7) 東唐津の瀬戸自転車の跡に東京から移住してこられた方が喫茶店を開店。主な収入はマーケティングでネット環境が整っていればどこでも仕事ができる。街並みが素敵だったということで福岡経由で唐津に。
- (8) 新聞報道によると、佐賀鉄工所の巖木工業団地への移転計画が見直しになった。トランプ関税の影響は唐津地域には少ないと思われていたが、思わぬところから影響が出てきた。土地取得は予定通り。
- (9) 早稲田中在学の子を持つ親の話。東京で不動産業を営んでいる方が唐津に九州支社をつくり、早速、飲食店や民泊事業を展開されている。中学からだとも6年間在学だから十分ビジネスを展開する時間がある。

唐津商工会議所では、『KCCI 地域経済四季報Eクォーターリー』を発行します。市内の商工業、街づくりについての情報をお待ちしています。唐津商工会議所 TEL: 72-5141 FAX: 72-5146 Email: kcci@karatsu.or.jp